

二名公民館だより

前を向いて、あきらめる

二名公民館 館長 泉森奈央



「諦める」は、「明らかにする、あきらめる」を意味した。つまびらかにする」を意味した。

仏教用語に由来するそうです。本質を見極めて悪い状況をいったん受け入れ、手放すという意味。他のせいにして投げやりになるのではなく、積極的に次の解決策を見出す過程にある言葉なのですね。

それを体現している良いお手本が、二名地域にも大勢いらつやいます。その姿に大いに力をいただき、励まされます。長期戦が予想されるコロナ禍。公民館は、平常時の活動はもちろん、皆様の前向きなあきらめも後押しする存在として尽力します。

一特集一 二名地域で「コロナとの共生を考える」

社会全体が再スタートを切つてから、約一ヶ月半が経ちました。日常に新しい生活様式を織り交ぜながらの試行錯誤が続きます。学校、自治活動、福祉を代表する方々にお集まりいただき話をうかがいました。(※写真撮影時のマスクを外しています)

▼進行(館長 泉森) 私たちの生活に大きな打撃を与える新型コロナ。影響と近況を教えてください。

(二名地区自治連合会・戸村会長) 会議の進め方を見直すきっかけになりました。定例会が開けなくて困り

発行 公益財団法人 奈良市生涯学習財団 二名公民館
奈良市学園赤松町 3684 番地
TEL&FAX 0742-46-9113
発行人 館長 泉森 奈央
発行日 令和2年7月9日 第6号



ホームページでもご覧いただけます

ましたが、必要最低限の書類を郵送したり、書面決議に変えたり工夫して、いかに多くの書類を作っていたかと反省しました。



二名地区自治連合会 会長 戸村 義弘さん

(青和地区自治連合会 日夏会長) 近所への関心が高まって、お互いに助け合う気持ちが出てきたように思います。ただコロナ禍の災害対応は早急に考えないといけません。想定外の災害が起つたら、現状では感染者対応が全くできていないと感じています。

(二名包括支援センター 柳川センター長) 感染予防意識の高まりはインフルエンザ予防にもつながったと思います。また関連機関との連携といった課題を再確認しました。オンライン会議の導入で、移動の負担が減り効率は上がりましたが、人と会えないのは寂しいですね。

(二名中学校 乾校長) オンラインという新しいスタイルの学習方法が進みました。生徒たちが「学校があることは当たり前でない」ということ



二名中学校 校長 乾浩章さん

に気付けたことも良かったと思います。文化発表会や部活動(大会)の中止は、特に3年生にとって非常に残念な影響です。

▼(泉森) なるほど。たいへんな面もありますが、必ずしもマイナスの影響だけではないようですね。(戸村会長) 世の中の、時間の使い方が変わってきましたね。それと、やはりオンラインやテレワーク。子どもたちは、そついったものに順応が早いですよ。

(乾校長) はい。ただ一方で、家庭の教育力格差が浮き彫りになったと感じています。例えば、オンライン学習の環境がある家庭もあれば、ない家庭もある。全生徒にタブレットを持たせる奈良市の計画が、今回を機に一気に進みます。

(戸村会長) 確かに、今まで見えていなかったことが見えてきましたね。給食がなくなり家庭の食費が増えて大変だったり。この地域でもそついう困り事があると聞いています。学校は勉強だけの場所じゃない。



青和地区自治連合会 会長 日夏 寛次郎さん

(日夏会長) そつですね。勉強を教える、知識を詰め込むだけが教育ではありませんよね。世界的にオンライン授業が進んでいます。やはり人と会い、コミュニケーションを取つて行う人格教育が大切だと思います。

▼(泉森) では、コロナとの共生を可能にする条件や、二名地域の強みとは何でしょうか。

(日夏会長) 青和地区は人的資源が豊富です。教育力も高いので、専門知識を持つ方も多い。例えば、ある町では住民の2割が医師です。ただ、自治会活動への参加はそれほど積極的でないのが寂しいのですが、よ

り多くの方が、地域住民のために豊富な知識や経験を活かしていただければ、危機を乗り越える大きな力になるのではないかと思います。

(戸村会長) たいへんまとまりがある、というのが二名地区の強みです。野村夏祭り、地区社協福祉大会、西登美ヶ丘公民館での活動、子どもの安全活動など。若い方から一配まで一丸となつて活動しています。(乾校長) 情報発信力、ホームページの役割も大きい

一回この二名の地で働けることに感謝し、自覚と誇りを持つて働きたいと思っています。過去いろいろな学校で勤めてきましたが、この子たちと、保護者の方やこの地域の方であれば何でもできそつうな気がします。生徒会が目指す「日本一の学校」にもなれると。

(柳川センター長) まずは、この状況で頑張つてくれる職員たち、ありがたいです。そして普段のネットワーク。感染拡大時も、地域の介護事業所が高リスクの中で受け入れてくださつたり、マスクや消毒液がない時に何とか確保できたり。さらにはこの二名地域は、アイデアを持っている人が地域でつまく機能して、新しい取り組みができています。高齢者のサロンを中止した時、「じゃあ、こちらからお年寄りの様子を見に行つ」とすぐに対応されたのも、地域の力ですね。

(日夏会長) 柳川さんにお聞きしたいのですが、今回の自粛期間中に地域の方の認知症が進行してしまつたというごことはありますか？



二名包括支援センター センター長 柳川 剛秀さん

(柳川センター長) 実は、4月には精神疾患の方、6月以降は認知症の方がすく増えました。おそらく人とのつながりが分断された影響が時間差で出てきたのでしょう。集まる場所に来られない方に、どうアプローチするかという課題が、コロナで浮き彫りになりました。民生委員の方々に全て任せるわけにもいきません。他地域では、ラジオを使つたり、手紙を書いて繋がりを保つ取り組みがあるそつです。昔ながらのコミュニケーション方法を復活させることも、必要かもしれません。

▼(泉森) 非常時に大切なのは、日常的なコミュニケーション、固定観念にとられない対応力、大きな流れに取りこぼされそつうな方たちへのサポート体制と言えそつですね。これからも、このような対話の機会を大切にしたいと思つています。ありがとうございました。

3ヶ月以上、自粛のお願いと休館が続いた公民館。この間も、工夫しながら活動を続けておられる自主グループを紹介しします。地域活動や学習グループ運営の参考にさせていただければ幸いです。

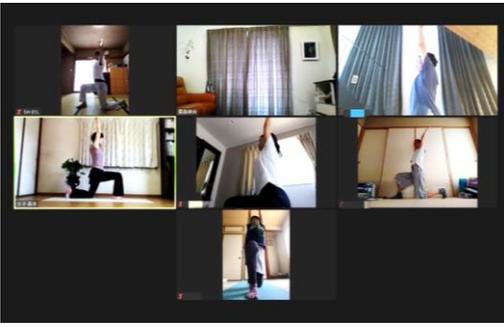
① 二名気功的ヨガ(取材・泉森)

6月23日。自宅でノートパソコンを開き、事前に送っていただいたURLからオンライン上のヨガスペース(zoom)に入室しました。次々と増えていく画面上のお顔に挨拶をして、全員が揃ったところでスタート。

まずは各自が自分の声や家の生活音を消音にして、先生の声だけが聞こえる状態に。呼吸を整えて手足の小さな関節から大きな関節へと少しずつ可動域を広げます。意識を自分の体に向けて、全身がほぐれていく感覚を味わいました。

今は、無料動画サイトでもヨガ指導が見られる時代。ですが、たとえ画面上でも馴染みのメンバーと顔を合わせて、先生がこちらの動きを確認しながらリード

してくれる安心感とは別物だと感じました。オンラインも日頃のグループ活動の延長にあるから充実するのでしょうか。(写真はパソコン画面)



グループ活動 こうやって続けています

あつという間の1時間。あらためて森本文子(もりもとふみこ)先生とメンバーの皆さまにお話をうかがいました。

▼オンラインでの活動継続を決められたのはなぜですか。

●(森本先生)同じようにヨ力の講師をしている妹が



オンライン指導を始めたので、そこに参加したのがきっかけです。ヨガは各自が自宅でもできるのですが、やはりどんな形でも指導を続けてさしあげたいと。自粛が長引きそうでしたので。

▼グループ全員がオンラインに参加されていますか。●(森本先生)全員ではありませんが、7名の方が参加を希望してくださいました。長くお会いできていなかったので、画面で会えたときは心から嬉しくワクワクしました。オンラインなのにお互いの気持ちに通じ合っただということが新しい発見でした。

▼オンライン活動の感想を教えてください。

●(メンバー)「会場までの移動がないのでギリギリまで家事ができます。ただ、先生の細かな動きが間近で見られないのは残念。」

「休園休校で子どもとタラタラしがちな自粛生活中も、『自分の時間』として、自身をリセットする貴重な時間になりました。」

「コロナ前は欠席続き。オンラインだからこそ毎回参加できています。」「家なのでリラックスしすぎて途中眠くなることも!」(笑)「

▼ご協力ありがとうございました。次回は公民館でお会いしましょう!

★同グループ活動は第2木曜日9時半〜11時

② 雅・絵手紙クラブ

「郵便」×「電話」+時々「スマホ」。使える手段をフル活用して山田雅子(やまだまさこ)先生との学習を継続されています。当初は写真画像だけでやり取りをしていましたが、絵手紙という性質上、実物との色合いに差があることから、郵便と固定電話を使うことに。封筒を開いてこんな絵手紙が入っていたら、クスツと笑って気持ちが晴れそうです。

★同グループ活動は第2水曜日13時半〜15時

(← 会員 山村真紀子さん作「アマビエ」)



主催講座のご案内

延期していた講座が始まります

「二名にこ広場」(9時〜12時・自由入場)7月30日・8月6日、27日、9月10日、24日と3月まで続きます。

「みんなのためのしく健康体操」(10時〜11時30分 自由入場)9月8日(火)から10月13日、11月10日、12月8日、1月19日の開催予定です。詳細はホームページをご覧ください。

【参加募集】「はじめてのスマートフォン」

リモート、オンライン、アプリ…。「横文字ばかりで、ついていけない!」。そんな方にこそ、ご参加いただきたい講座を開催します。

●日時:8月28日(金)14時〜16時

●対象:奈良市在住でスマートフォン未所有の概ね60〜70歳 20人

●講師:KJ(株)認定講師

●内容:貸出用スマートフォンを使った基本操作・インターネット操作 他

●申込:往復はがきに「名前(ふりがな)・住所・電話番号・年齢」を記入して二名公民館(学園赤松町3684)まで。郵便はがきを添えて公民館窓口で、または奈良市生涯学習財団ホームページからも申込可。応募多数の場合は抽選。

●締切:8月18日(火)必着

★感染拡大防止のため各講座が中止になる場合があります。

公民館使用の一部緩和(7月)

現在使用いただけない活動は、吹く楽器オカリナ・ハーモニカなどです。なお、ご来館の際は事前の検温とマスクの着用にご協力ください。

※使用条件は8月にあらためて見直しの予定です。

編集後記

今回も多くの方に協力いただいた二名公民館だよりです。心より感謝いたします。